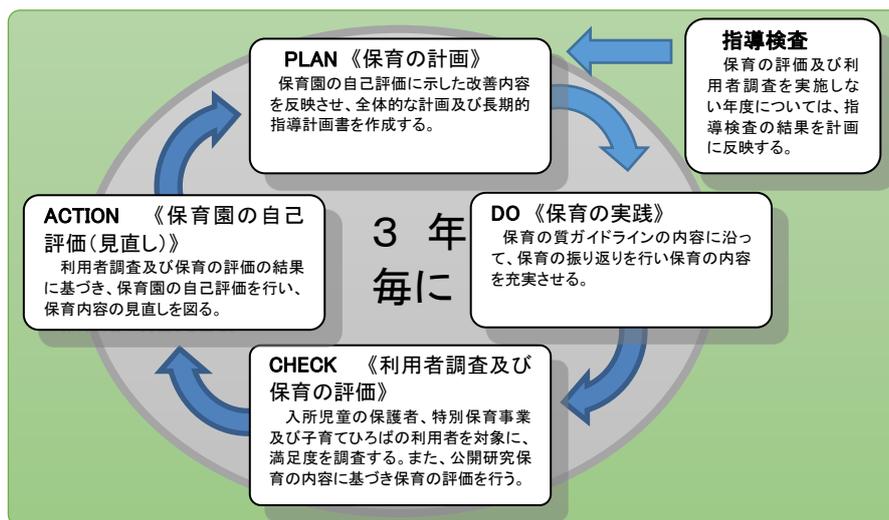


令和5年度
八王子市立保育園（公設公営園）
保育所の自己評価

国は、平成29年（2017年）3月31日に公示された新保育所保育指針の中で、「保育士等は、保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、その専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない。」と明記しています。また、八王子市は、平成30年12月に、公立保育園が八王子市の保育における中核的な役割を果たしていくため、「八王子市（公設公営園）保育の質ガイドライン」を策定しました。

保育園が、保育施設としてその運営や保育内容等について保護者の皆様や地域の皆様に説明することは、保育所の重要な責務です。このことを踏まえ、公立保育園では保育の質の向上を図るために、利用者調査、公開研究保育とともに保育所の自己評価を実施しました。

今後は、評価の結果を踏まえ当該保育所において保育内容等の改善を図るとともに、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより強固なものとなるようにしてまいります。



評価責任者

八王子市子ども家庭部子どもの保育・教育推進課
高尾 保育園 施設長 床次 美由紀

令和5年度（2024年度） 保育所の自己評価		評価結果
評価項目	評価結果	評価結果・具体的事例および改善方法
<p>保育の方針 1</p> <p>子どもが人格を形成していく上で、自己肯定感を持てるようにすることが大切である。職員は、子どもがあるがままを受け止め、自分の意思を自由に表現できるように保育の中で援助していく。</p>	78%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人ひとりがあるがままを受け止め、自由に表現できるよいかかわり、気持ちに寄り添い共感し肯定的な声を掛けるよう努めてきた。 ・今後も子どもたちが安心して保育園生活を送ることができるよう、一緒に考え、援助していきたい。
<p>保育の方針 2</p> <p>子どもが保育園生活をおくる上で必要なルールを知らせるとともに、人にはそれぞれ違いがあり、その違いを認め合うことを伝えていく。</p>	78%	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて、必要性和守ることの大切さをわかりやすく知らせ、個々の考えを聞きながら、子どもたちが自己解決できるよう働きかけている。 ・支援児への対応は、定期的に職員間で共通認識し援助の方法を統一している。
<p>保育の方針 3</p> <p>人の成長には豊かな経験が必要であり、特に乳幼児期においてはそれが実体験でなくてはならない。人的・物的な環境を整え、自然に集団となつてあそぶ中で様々な体験ができるようにしていく。</p>	81%	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に触れる機会を設け、子どもたちが実体験できる環境を設けている。 ・3.4.5歳児は、異年齢交流保育を実施する中で、自分より年下の子に優しくする経験や、年上の子の行動への憧れから一緒に遊ぶ経験や生活する経験を実践してきた。
<p>食育</p> <p>食事は子どもの身体的成長の基本であり、心豊かに食を楽しみながら自然の恵みに感謝し、子どもの命を守る大切な事項である。年齢にあった調理方法や栄養のバランスはもとより、食習慣の確立・栄養教育・心の健康づくりという目的に応じて一人ひとりの子どもに配慮する。</p>	83%	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培と収穫を通して、食することの大切さや作ってくれる人への感謝の気持ちが育まれるよう保育の中で伝えてきた。また、年齢ごとに食材の下処理や盛り付け体験などを実施した。 ・レストランをビュッフェ形式で行い、自分の食べられる量や食べたい量を選択できる経験をした。 ・今後も、食事の時間が楽しいという経験を積み重ねていきたい。
<p>子育て支援</p> <p>子どもの健やかな育ちを保障するため、家庭との連携を深めるとともに、在園児保護者及び在宅の子育て家庭における養育力が向上するよう援助していく。</p>	73%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の困り感や不安感を受け止め寄り添い、一緒に考え解決できるよう努めている。（在園児） ・子育てひろばの職員と連携し、各家庭に合わせた対応をしていきたい。（在宅家庭）
<p>職員の資質向上</p> <p>保育者に求められる専門性や倫理観を高めるため、保育の質の確保に向けた取り組みを組織的に行う。</p>	66%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部への研修参加には個人差がある。 ・園内研修が不十分であった。 ・今後も、個々で参加した研修等を職員間で報告、共有し職員の資質向上に向け努めていきたい。
<p>安全管理と災害への備え</p> <p>日々、子どもたちの健康に留意するとともに、災害や事故に対する準備と心構えを持ち、それに係る訓練などを欠かさずに、子どもの安心・安全を守る。</p>	76%	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した安全計画をもとに、災害や事故についての訓練や研修を実施した。また、得た情報やニュースの内容を朝礼で伝達し、常に危機管理を意識できるよう務めている。今後も子どもたちの安全、安心を守るよう努めていきたい。